

## めざせ！！子ども森林インストラクターin埼玉①

# 秋の生きものを見つけよう！

## 「トトロの森から狭山湖を巡る」

10月25日。そういえば今日は、国内民間航空記念日だと思いつきながら、航空公園駅を通過し、西武球場前駅へ向かう。

到着してみると、下見で確認していた、受付に使用するつもりのフリーのテーブルが埋まってしまっていた。鉄道友の会ブルーリボン賞贈呈式式典のせいかな？事前アンケートは立ったままボードを渡して書いて頂く事とする。

高杉リーダーをはじめ、スタッフ5名が揃い、まずはアルコール消毒と健康チェックを実施して、参加者を待つ。

一本の電車で一斉に来ると構えていたが、車や電車、バラバラに集まった為、受付の混乱はなく、スムーズに消毒、健康チェック、事前アンケートと進む。他の団体や家族の子ども達と区別する為、名札も用意した。小学生11名と同行する大人は8名。スタッフを入れると総勢24名となる。

出発前に高杉リーダーからイベントの主旨等を説明し、小林サブリーダーが行程を説明する。他のスタッフも自己紹介。私(青柳)は、アルコール消毒と葉袋担当なので、すぐに見つけられるよう、夜光性の派手なオレンジ色の帽子をかぶり、「目印はオレンジ色の帽子」と参加者へ案内した。

いよいよ出発。トイレを済ませた後、小林サブリーダーを先頭に、トトロの森へ向かう。

やや遠回りになるものの、なるべく自動車の通らない道を下見で選び、その道を進む。畑が多く、今では珍しい稲刈り(根刈り)の跡があり、また刈った稲が稲架にかけて天日干しされていた。子ども達に「あれが御飯になるんだよ。」と紹介。

他にも、大根、茄子、里芋、等々の畑の野菜を案内する。意外と興味を持つ。

柳瀬川を渡り、車道を渡る。森への入り口にクサギが咲いていた。小林サブリーダーが、染料にすること等を説明し、実際に葉っぱの匂いを嗅いでもらう。「そんなに臭くない。」「臭い！」「お茶の匂い。」「わかんない。」等々、子どもの感想は面白い。

トトロの森15号地と3号地を右手に進み、いきものふれあいの里の東屋で休憩兼給水兼周辺探索。

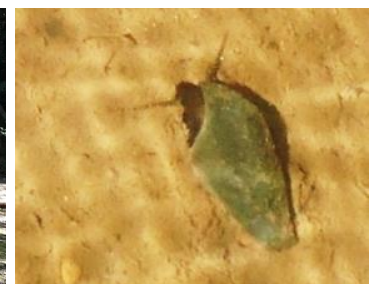
浅井さんがコナラの枝先を拾い、チョッキリについて説明。久保さんがカワニナを見つけて説明。その他、子ども達がイトトンボやテングチョウ、ハラビロカマキリ等々を捕まえた。また、久保さんと青柳で用意した携帯用の虫取り網が、大活躍。高杉さんが持ってきた透明な瓶に一旦入れて、みんなで観察。その後、逃がすという手法で虫観察をした。

子ども達は、草花や樹木、ドングリなどよりも、圧倒的に虫が好きらしい。只、ジョロウグモの説明には反応は良くなかった。

給水後、出発。林道から外れ、小川沿いの木道を進む。トラスト保全2号地で、トイレにより、左折



チョッキリの説明をする浅井さん





してトトロの森1号地へ向かう。いつの間にか参加者は、コセンダングサやアメリカセンダングサ、ノブキ、ヌスビトハギ等々の種を身に着けていた。

トトロの森の元祖、1号地で集合写真を撮る。高杉リーダーが用意した、サプライズプレゼント“まっくろくろすけ”のペンダントを首に掛け、参加子ども達のみと、親も一緒に二通りの集合写真を撮影した。

その後、シラカシやコナラ、クヌギ等をドングリと絡めて説明しようとしたが、子ども達は突然現れたキタキチョウに夢中。

モンキチョウとの差異を説明する。

ほどなく堀口天満神社に到着。まだ10時半なのに子ども達は「お腹が減った。」と言い出し、おやつ休憩となる。

休憩中も虫取りは継続。男の子がミスジマイマイを捕まえる。

休憩が終わり、狭山自然公園へ向かう。

途中のトトロの森39号地付近で、大きなトノサマバッタが車に轢かれていた。さすがに涼しくなり、動きが鈍っている様子。

狭山湖第一駐車場でトイレ休憩し、狭山自然公園内へ。左岸四阿付近でお弁当。この日は湖面越しに富士山を望む事が出来た。子ども達は相変わらず、ひつつき虫だらけになって、虫を追い回している。

昼食後、展望デッキから改めて富士山を鑑賞。その後、公園内の要所所で虫取り。トノサマバッタ、ショウリョウバッタ、ハラビロカマキリ、キタテハ、ツマグロヒョウモンを捕まえる。ジョロウグモの複雑に張られた蜘蛛の巣を小枝で遊ぶ子ども。

基本的にバラバラに参加した子ども達ではあるが、この時点では既に情意投合。特に虫を取るの好きな子と虫を集めるの好きな子が、肝胆相照の仲になっているのが印象的だった。

公園出口で、今まで捕まえた虫たちを全て逃がし、西武球場前駅へ向かう。駅では再度健康チェックをし、事後アンケートを行い、お迎えの親御さんを待って解散した。

天気にもぐまれ、事故もなく、とても楽しい有意義な一日を過ごした。

(報告:青柳)

